

第20回総合計画策定幹事会 会議概要	
日 時	平成21年9月10日(木) 午前9時35分～午前11時45分
会 場	庁議室
出席者	大崎幹事長、加藤幹事、進藤幹事、小嶋幹事、入江幹事、筒井幹事、今井幹事、木村幹事、鈴木幹事、岨中幹事、小西幹事、山岡幹事、林幹事、前田幹事

【議事】

1. リーディングプロジェクトについて

事務局から説明

《意見等》

- ・リーディングプロジェクト事業は「10年間で強力に推進するもの」＝「10年間で一定の達成を見込むもの」と書いてあるが、以前の説明では、3年、4年、4年の基本計画期間の中で、第1期の3年間で始まるものであるということであった。しかし、今回の説明では10年間で出てくるものであるとなると、例えば、第1期の3年間で成果が出ない事業もあるのか。
- ・成果がないということはない。10年間でやっていく大きな事業であり、3年間で何もせずに、4年後5年後から出てくるというのは考えにくい。少なくとも内部調整や現場の調整などがある。そういったものが、当然、大きな事業として出てくると思う。例えば、旧草津川跡地のように、すぐに形として生まれえない事業もあり、計画的に進めていかなければならない。そのような事業でもリーディングプロジェクト事業になり得る。
- 基本的には10年間を見据えたと考えているので、変わることはない。しかし、状況によっては4年目から出てくる可能性はある。
- 行政の仕事が大幅に変わることはないので、10年間のベースは変わらない。ただし、法的な理由や新しいマニフェストが入ってくる可能性もある。その場合は、3年、4年、4年で見直しは可能である。
- ・それならば、リーディングプロジェクト事業は基本構想部分になるのではないのか。基本構想部分の具現化しなければならないのではないのか。
- リーディングプロジェクト事業はそういうものだという位置づけをしておけば良い。
- ・リーディングプロジェクト事業は具体的な事業になるので、先の見えているものになる。そうすると、10年間の基本構想期間と一致したものになり、第1期基本計画、第2期と分けて基本計画を策定するのであれば、無理があるのではないのか。もう1つ

はマニフェストとの関係だが、マニフェスト自体で計画などのチェックをすることになるが、基本計画でもチェックをすることになると二重になるのではないか。

→マニフェスト自体で検証は行うので、その部分は重複する。10年間草津市を引っ張って行くような事業を提案してほしい。

今までの総合計画は、計画を作ってもどこの課が具体的にどういう手法でやるかということが具体的に書いていなかった。計画したからには、各課が責任をもって事業をやっていくことが、この基本計画の1つの柱であります。当然、リーディングプロジェクト事業についても、10年続く事務事業もあれば、3年で終わる事務事業もありますので、まず3年間はどこがどの事務事業を持って、しっかりやっていくのかということをしつかり明確にしていこうというコンセプトを理解してほしい。

- ・「子ども・子育て応援事業」の大きい括りの中に様々な事業があるが、それに関わる事業をこの目標のため、どのように進めていくのか、そういうやり方でどのようにやっていくかという流れだと思う。ここに書いているように、細かい事業を纏めてこの事業にしましたということだが、具体的事業と総論的事业が入っている。現在、「次世代行動計画」を平成22年度向けに策定しているのだが、次世代行動計画そのものがこの1つの事業の中に収まってしまっている状態になっているので、それをどうするか検討している。

- ・例えば、草津川廃川敷地整備活用事業は、防災、公園、道路といった多岐にわたる分野が関係してきますので、1つの大きい括りで捉えている。市民から見て、10年間これだけの部分について力を入れていくことが理解しやすいようにしたい。そのために、3年で成果を見ていく。今回提案したリーディングプロジェクト事業で、こうしてくださいということがあれば、必ずしも1つの事務事業でリードしていくというのは難しい場合もありますので、意見等をお願いします。

- ・5ページの「子どもスポーツ促進事業」は具体的に何をするのか。

→これは、策定委員会からの意見を基に、教育部長と相談をして、子どものアスリート養成のような事業を考えていたのですが、結局は、子どもスポーツ促進事業という名称で追加することになった。

- ・基本計画についても、しっかりと議論しなければならない。リーディングプロジェクト事業には、中期の目標、基本方針、期間の方針があり充実した内容だが、基本計画についてはそこまで書き込んでいるのか。基本計画に書いておらず、リーディング事業で具体的に書いているとなると、基本計画で体系的に整理したものとは別に、大きなボリュームのものが出来てしまう。それで本当に良いのか。リーディング事業は、審議会で意見があったように、絞り込んで特化すべきである。横断的に網羅しても、計画の実現のために引っ張って行く事業として考えなければならない。

→確かに審議会でも、事業を絞り込んでいくべきだという意見もあった。

- ・リーディング事業に具体的な事業が入るのが良いのかどうか。例えば、「子どもが伸びやかに育つまち」ならば、学力、体力、安心などの区切りで、伸びやかに育つという書き方が良いのではないか。色々な視点で子どもを見ている人がいる訳だから、そういう大きいテーマの方が目標に合う区分けの方がいいのではないか。

- ・基本計画の中にリーディングプロジェクト事業があり、リードしていく施策群がリーディングプロジェクト事業であるのか。基本構想の下に基本計画があり、その下に施策と事務事業があるのだが、その施策にスポットを当てているものがリーディングプ

プロジェクト事業であろう。そのリーディングプロジェクト事業の中に、特化するいくつかの事業があることになるのか。

- ・リーディングプロジェクト事業は、基本計画の中に当然に入ってくる。そこから特出しをして、リーディングプロジェクト事業に引っ張ってくることになる。しかし、施策や基本事業の手段の部分をしっかり議論できていないため、ここには基本計画に載っていないものが入ってしまっている。基本計画や事務事業を先に整理するべきであったのではないか。
 - ・審議会でも絞り込む必要があるとの意見があったが、各会議でも様々な意見が出ているので、もう少し議論をする必要があるのではないか。
 - ・元気アップとうるおいアップの両プロジェクトにあるタイトルは変えないのか。内容だけを絞り込んでいくのか。
- 「元気とうるおい」は、都市ビジョンのキャッチフレーズになっている。これを変えらるとなると、また最初から調整しなければならないので、変える予定はない。
- ・この体系で良いと思う。第4次総合計画までこれはなかった。10年間の基本構想でリーディングプロジェクト事業を特出しして、第1期の3年間で重点的にやっていくという、理解を持つ必要がある。市民に対しても、説明していかなければならない。この提案では、各目標に多くのリーディングプロジェクト事業があがっているが、これを3年間で取り組むとなると不可能ではないか。まずは、3年間で取り組める事業を、1つに纏めてはどうか。例えば、5ページの市民の元気アップの目標1で、「子どもを伸びやかに育つまち」として4事業があがっている。これを「子ども・子育て応援事業」で1つのリーディング事業として纏めて、それが他の3事業と関わってくる。目標2についても、「生涯現役プログラム推進事業」として纏めることで、高齢者能力発揮支援事業も含まれているのではないか。どのように纏めていくかが重要である。
 - ・草津が自慢できるような、市民からも分かるようなテーマで絞っていく必要がある。事業の数も多いので、この事業を実施することにより、他の事業も達成出来るというような事業をリーディングとすべきである。主な事業としては、3つくらいには絞ってはどうか。
 - ・「高いところぞし」からを目標にして、主な事業と関連付けた時に少し違和感がある。市民から見ると事業が非常に分かりにくい。事業を絞り込むならば、大きく括ったほうが、市民にとってはわかりやすいのではないか。そうすると、成果指標が把握しにくいリスクが出てくるかもしれない。そうでなければ、大きな目標に対する事業というのが、余りにも貧弱な印象を与えてしまう。また、リーディングプロジェクト事業は、10年間を見据えた第1期に出来る事業であるとのことだが、それぞれの目標に対する事業のレベルをきっちりと合わせていかなければ、レベルが事務事業なのか施策的なものか分からなくなる。将来に向けて取り組んでいく事業名が良いのではないか。事業名は行政評価のレベルになるのか。色々なものと一気に合わせてしまうと、反対にわかりにくいものとなってしまふ。
 - ・リーディングプロジェクトは、中途半端に整合化を考えないほうが良い。整理をすればするほど不十分なところが出てくる。先に事業があり、それを総合計画の中の事業に当てはめているので、様々な性質があり一貫していない。整合化しようとするほど「これが足りない、これが偏っている」ことになってしまう。大きな狙いを達

成するために、この事業は力を入れて長期に渡ってやっていく事業に絞っていくことが必要ではないか。基本構想から基本計画への体系とは別の体系を作るべきではない。

- ・目標1に対する事業がこれで目標2にはこれでという風にしないで纏めてはどうか。元からアンバランスなので、それを整えようとするとなすます合わなくなる。
- 最初は12個のアップ策があったものを、審議会の意見を受けて8個に纏めました。纏めたと言っても、中にある事業はそのままにしてあり、精査してもらうためのたたき台として提案している。先ほど、中長期の目標をどうするかとの意見があったが、10年間を見据えた目標として、「こういうまちになりましょう」というイメージで書いているため、それを消すことになる、その担保をどうするかを考えてもらいたい。また、事務事業を纏めることにより分かりやすくはなるが、それをどのような事務事業で構成していくのか、責任の所在を明確にできるのかなどの課題はある。新規事業の場合は、特に慎重に議論をしてもらいたい。

2. 国土利用計画市民意識調査の実施について

事務局から説明

〈意見等〉

- ・実施時期はいつになるのか。

→9月の第4週、5週ぐらいで考えています。

以 上